



問

雲出伊倉津町地内の避難道路について、市は放置していないか

雲出伊倉津町地内の避難道路について、令和3年度に自治会から道路拡幅の要望が出されていたが、それ以来、市は放置しているのではないかと。また、雲出伊倉津町地内の方々に対して、市はどのような説明をしているのか。

答

現地立ち会いを行い、状況についてご理解いただいた

令和4年1月12日付で自治会から要望書が提出されたことから、現地立ち会いを行ったところ、雲出伊倉津町地内の道路は非常に狭く、災害時には徒歩による避難が原則となることから、避難道路としての拡幅ではなく、生活道路としての拡幅を求める旨の説明を受けた。

このことから、生活道路の拡幅については、すぐに事業化することができない状況であることを説明し、理解を得ている。

その他の質疑・質問

- 都市計画道路の進捗状況について
 - 久居井戸山町垂水線および雲出野田線等の進捗状況は
- ズリ(物品)の管理および処分は適正か
- 市営浄化槽の違法設置について(平成29年度)
- 学童保育の施設整備等について

伊倉津地区の狭あい道路



問

津駅東西のバスタ事業を含む開発について問う

津駅のバスタ事業を含む開発について、既に津駅西口周辺は、令和7年度から先行して着手する予定と聞いている。津駅東口周辺は、国、県、市が連携して事業を進めることとなり、周辺の民間事業者の十分な理解と協力が得られるように進めべきと考えるが、津市はどのように対応するのか。

答

官民一体で駅やまちの魅力づくりを目指す

バスタプロジェクトは、国、県、市の3者が連携し、津駅周辺の将来像を示すビジョンの作成に取り組んでおり、津市は、東西自由通路の検討や民間事業者のノウハウ等を生かせるよう周辺の公共施設を含めた官民連携による整備および管理運営につなげるためのサウンディング調査を実施し、官民一体で駅やまちの魅力づくりを目指す。また、津駅東口周辺まちづくり懇話会の意見を踏まえ、新たな交通ターミナル上部空間への民間主導による土地の高度利用について示すなど、民間事業者が魅力を感じられるよう津駅周辺地区の魅力や価値の向上と土地利用促進につなげていく。

その他の質疑・質問

- 議案第29号 令和7年度津市一般会計予算
 - 大門・丸之内地区の再活性化について
 - 津なぎさまちを基点に観光ネットワーク構築を
 - 各地域包括支援センターの対応力の差の是正は
 - 地域によってごみの収集方法が違うのはなぜか
 - 水道汚職に関し、旧態依然の職員の意識改革は
 - 津城跡周辺の開発で中心市街地活性化を など

混雑する津駅東口の様子

